

第2回野外森林教室 「夜のムササビを見てみよう！」 2012年11月30日

多摩森林科学園の樹木園には、ムササビが多く生息しています。でも、ムササビは夜行性なので、普段の開園時間にはほとんど見る機会はありません。今回は日没後の樹木園で、ムササビの滑空を見てみることにしました。

夕方、樹木園の中を歩いて、食べあとやフンを観察し、どのようなところにムササビが来るのか調べておきます。



日没後、ムササビ親子が寝ている巣箱の前で、出巢を待ちます。17時過ぎ、まずは母ムササビが巣箱から顔を出し、ケヤキの木の枝先まで移動。そして参加者の見ている前で、約20m先のスギまで大滑空をしました。そこで、グルルル〜という声。子どもを呼んでいるのですが、子ムササビは巣箱から顔を出すものの、出てきませんでした。母ムササビがその後、滑空しながら餌場に移動していく姿も観察できました。



生後5か月の子ムササビ、このあと元気に成長して、母ムササビのように滑空する姿を今度は見せてほしいですね。